

ひがしの子

令和6年3月18日
岐阜市立岐阜東幼稚園
園長 藤井 佐由美

1年間、温かいご支援・ご協力をありがとうございました！

いよいよ明日、たいよう組は卒園の日を迎えることとなりました。嬉しくもあり寂しくもあり…

そんな気持ちは子どもたちも同じなのかもしれません。3月5日の『お別れ会』は、これまで職員で計画案を練っておりましたが、今年度は、なつめ組の子どもたちに任せてみることにしました。なつめ組の子どもたちは、これまでたいよう組が様々な場面で話し合いを重ね、みんなのために『どうしたら楽しくなるか』を考えてくれていたことを、ちゃんと見ていたんですね。自分たちが企画の中心になれることを、とても喜んでいました。

そして、「たいよう組さんとずっと一緒にいたい。」「ドッジボールやりたい。」「みんなでかくれんぼしたい。」などいろいろな意見が出る中で、たいよう組さんはもちろんのこと、こあら組さんも一緒に楽しめるものを話し合い、全園児でかくれんぼをすることになりました。

さらに、『全員が楽しくかくれんぼをするためには、どうしたらいいのか…』も考えてもらいました。すると、「危ないところは、かくれない方がいい。」「どこに、かくれられるか探しておく。」などの意見が出て、少しずつ幼稚園のいろいろな場所をリサーチすることになりました。毎日入れ代り立ち代わりなつめ組の子どもたちが、ホール、こあら組、たいよう組、廊下、遊戯室などを見に行っては、危ないところや大切なもの、かくれられそうな場所を見つけてくれました。そして、なつめ組の子どもの考えで危ないところには、『×』を描いて貼っておいてくれました。



いよいよ『お別れ会』の日を迎えました。

全員がなつめ組に集合して、『スペシャル わいわい かくれんぼ』の約束を一緒に考え確認しました。初めは、たいよう組がかくれて、こあら組、なつめ組の子どもたちがさがします。なつめ組では大型テレビモニターにカウントダウンの画像が流れて、急いでたいよう組がかくれに出発しました。かくれるための制限時間はたったの100秒です。見つかるとなつめ組に集合となり、つかまった子どもたちは、

大型テレビモニターでかくれんぼのリアル中継を観ることができるようになっていました。「あ～、

〇〇ちゃん、つかまっちゃったあ〜！」と残念そうにするたいよう組の子どもたち。見つけると大喜びするこあら組やなつめ組の子どもたち。どちらも手加減なしの本気勝負です。さがすための制限時間は10分間、かくれ切ったらたいよう組の勝利です。刻一刻とその時が迫ってきました。残るはあと一人。最後まで隠れ切ることができるのか…



結果は、なんと最後まで見つからなかったのです。それというのも、いろいろな扉の中やカーテンの中は『なし』となっていたので、ほとんどの子どもはセッティングされたテーブルクロスやかぶせた布の中や、魅せる会の大道具や物の陰や中、廊下の大きな展示物の後ろなど、すぐに見つかりやすいところに隠れていました。そのため、次々に見つかっていったのです。それなのに、うまくかくれたものです。

次はこあら組がかくれる番です。こあら組の子どもたちも、遊びの面白さを理解して一生懸命かくれていました。友達や先生と一緒にかくれる子どもが多くいて、固まってかくれる様子が可愛らしかったです。しかし、残念ながらたいよう組となつめ組に全員見つけられてしまいました。

そして、一番この遊びをやりたと思っていたなつめ組がかくれる番です。いつも以上に興奮し、「絶対にみつからないぞ〜！」と意気込み、自然に輪になり「え



いえいオ〜ッ！！」と大きな声をあげていました。ものすごい団結力を感じました。



しかし、こあら組、たいよう組を前に、残念ながら全員見つかってしまいました。

いよいよ最後の勝負です。先生たちの代表5人対子どもたち全員です。5人対50人の真剣勝負。こうなると、子どもたちは今まで以上に闘志を燃やし、なつめ組保育室の床が抜けるか…と思うくらい、「うお〜！」という歓声と共にジャンプが始まりました。なつめ組の子どもの中にも、



自ら円陣を組んで、「ちょっと、まだみんな揃ってない。」「〇〇ちゃん、来て、みんなでやらないといかん！！」と仲間を呼び集める子どもの姿がみられ、とても眩しかったです。この臨場感は文章では伝わりにくいですね。思わず先生たちも集まって「えいえいオ〜ッ！！」と叫びました。

さあ、大人も本気のかくれんぼです。制限時間のうちに私もなんとかかくれ、しばらくしてドド〜ッとなるような大勢の子どもたちの足音が近づいて来まし

た。とうとう、私がかくれている遊戯室の中にも子どもたちが入ってきました。数十人の子どもが入り出して、「こっちもない!」、「あと何人?」、「〇〇先生はもう見つかったって!」、「あと〇〇先生か…」という会話が飛び交います。段々、ドキドキしてきました。

『狭いし、お尻に物が当たって痛いし、動きたいし、動いたら見つかるし…』、『もう早く見つけてもらった方が楽かもな…』とも思いました。そのとき、放送がかかりました。「あと30秒です!みつからない

のは、あと2人です!」、私は『私以外に、もう一人見つからない先生がいるんだな…〇〇先生かなあ〜』と思いながら低い姿勢をキープして我慢していました。

とうとう終了の合図が聞こえ、なつめ組に集合となりました。そうです。なんとか最後まで見つからずにすみまし。なつめ組に行くと、みんなから「どこにかくれとったの?」と次々と聞かれました。互いに最後まであきらめずにやり続けたことを讃え合いました。



こんなにも楽しくスリリングな『かくれんぼ』は、小学生低学年のとき以来でした。なつめ組の子どもたちは『逃走中』というテレビ番組を真似して遊んでいた子どもが多く、そんなイメージもあったのだと思います。実際やってみると、こんなにもドキドキするものなんですね。思いっきり遊ぶって、こんなに楽しいことなんだなと改めて感じました。

その後は、全園児で遊戯室をランチルームにして、みんなファミリーで給食を食べました。

なつめ組さんの大企画ものすごく楽しかったです。子どもたちの願いを叶えようと、いろいろな準備をしてくれた先生たちも素敵でした。中には、「まだ、たいようさんとお別れしたくない…」とさみしくなってしまう子どももいたようですが、あなたたちならきっとこの先、立派なたいよう組となって、また岐阜東幼稚園を引っ張っていってくれることでしょう。来年度が楽しみです。

たいよう組さんは、こんなにも小さな子たちに慕われて嬉しかったですね。それは、これまであなたたちが小さい子のことを考えて関わって来てくれたからある姿です。今までたくさんの温かい関わりをありがとう。

こあら組さん、この幼稚園には素敵な先輩がたくさんいて嬉しいね。来年度は小さな新こあら組さんをよろしくお願いね。

たいよう組の子どもたちは、『なつめぐみさんへ』という手紙を作っています。そこには、心が切なくなるくらい、幼稚園のことやなつめ組さんのことを思う素敵な言葉がたくさん書かれています。詳しくはホームページをご覧くださいね。



お知らせとお願い

◆3月12日(火)には、文化委員さんからの還元として、『タフィとPARTY TIME!!』を観覧させていただきました。あいにくの雨降りでしたが、タフィちゃんのおかげで子どもたちは大喜びでした。むしろ雨降りの室内活動としては、元気いっぱいジャンプして踊ったり、歌ったり、遊んだりと最高のPartyTimeでした。なにしろタフィちゃんが100%のエネルギーで向き合ってくださったので、子どもたちも100%で楽しんでいました。文化委員をはじめとして、たくさんの保護者のご協力のおかげで実現した会でした。本当に素敵なプレゼントをありがとうございました。

◆地域の方より、『カランコエ』の花をいただきました。たいよう組さんへの卒園のお祝いとのことですので、卒園式にお持ち帰りください。地域に大切にされている幼稚園であることを実感します。これからも地域とのつながりを大切にしていきたいです。

◆令和6年度4月20日(土)長森駅北口交通広場 オープニング記念式典

現在のなつめ組が、新たいよう組となった4月20日(土)のオープニング記念式典に参加させていただくことになりました。

午前中の予定ですが、詳細については、4月に入ってから改めてお知らせいたします。是非、今から予定をしておいてください。

◆感謝の気持ち

1年間、温かいご支援・ご協力をいただきましてありがとうございました。言葉では言い表せない思いがあります。こんなとき、言葉というものは、なかなか気持ちに合うものをさがせないものですね。

伝えるとすれば、「素敵な子どもたちと出会わせてくださり、ありがとうございます。」「幸せな1年間でした。」という感じが近いのかもしれませんが。心より感謝しております。